

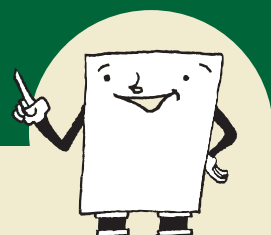
MENSHIN VoicePress

「免震ゴム」
導入事例レポート



Vol.1

発行：株式会社プリデストン



MENSHIN Voice

免震 × マンション

免震マンションを建てる会社、そこにお住まいの方のVoiceをお届けします。

安全への願いが
「地震に強い家づくり」の源泉
ナイス株式会社

Profile 会社プロフィール

〈免震マンションを建てる会社〉

ナイス株式会社

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4丁目33番1号
TEL:045-521-6161 (代表)

1950年に市売木材株式会社として設立後、国内最大級の住宅資材専門商社へ成長。マンション・一戸建住宅の分譲事業、不動産仲介事業を展開し、2007年にナイス株式会社を中核とする企業グループ(すてきナイスグループ株式会社)を発足。



ナイス株式会社 本社

お話しいただいた方

- 経営推進本部広報室
室長 渡利 勝也様
- 住宅事業本部商品企画部企画設計一部
部長 高士 博行様
- 住宅事業本部商品監理部構造・設備部
課長 今泉 隆之様

地震災害に対し住宅業界は 何を為すべきか

「私もナイス株式会社が、本格的に地震災害に強い家づくりをはじめきっかけとなったのが1995年の阪神・淡路大震災でした。自宅で亡くなった方が多かったというデータを見て、住宅建築に携わるものとして



大きなショックを受けました。家族団らん住まいが凶器になってはならない——この思いは強くなり、その後“地震に強い家づく

り”の普及にむけて、全社を挙げて取り組むこととなりました。当社が初めて免震マンションを手がけたのも1995年です」(渡利様)

ナイス株式会社様は“住まいは命を守るもの”というメッセージを掲げられ、地震に強い住まいづくりを常に考えておられます。また、『住まいの耐震博覧会』という展示会を2003年から毎年、全国各地で開催し、累計で130万人も来場されているそうです。

地震災害への積極的な取り組みと豊富な実績から、ナイス様は免震構造こそ、地震災害の際に最も安全で効果的な技術であると言えます。ナイス様が手がけるマンションはすべて免震構造か建築基準法の1.25倍の強耐震構造を標準採用され、“地震に強い家づくり”を徹底しておられます。

「住まいは命を守るもの」

耐震性に不安のある住宅は およそ1,050万戸。※ 耐震化率の向上が使命

近年、首都直下型地震や南海トラフ地震など巨大地震の発生が危惧されており、政府からその被害想定が公表されています。巨大地震への対策が進められる中、住宅については1,050万戸がまだ耐震性に不安があると言われており、ナイス様は『NPO法人 住まいの構造改革推進協会』を設立し、より耐震性に優れた住宅の実現を目指して、さまざまな研究や啓蒙活動を展開されています。

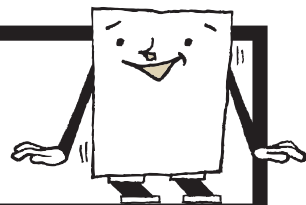
「特に大切だと思うのは東北の被災者の方の住まいの

悩みや不安を払拭すること。復興応援型住宅『フェニーチェホーム』の供給をはじめ、助成金や支援制度といった情報提供まで、親身になってご相談に対応しております」(渡利様)

これからも命を守る住まいづくりで“安全・安心”に向けた取り組みをされるというナイス株式会社。ここには真摯な企業姿勢と確かな技術力があります。



免震 × マンション



Voice 01 宮城県仙台市「ナイスパークフィールド小鶴新田」にお住まいのT様

「免震で、大震災を乗り越えられる強さと安心を手に入れた。」

モデルルームで免震マンションと出会う

宮城県仙台市にお住まいのT様は、2009年に免震構造のマンションを新築でご購入されました。

「マンションの購入を検討していた時は、立地や予算・間取りなどを重視していたので、いろいろなモデルルームを見て回りましたが、その時は免震構造（免震ゴム）はマンションの一つの設備に過ぎませんでした。ただ、モデルルームに免震構造を説明するコーナーがあり、そこにあった模型で免震と耐震の揺れ方の違いを知ることができました。その時は“なるほどなあ…”という程度の印象でした」



大きな地震で免震の効果を体感

T様がマンションをご購入された2年後に東日本大震災が発生。地震発生時は奥様がマンションに、T様は職場にいらしたそうです。

「地震が起きた時、職場では強い揺れで書類が散乱し、デスクも大きく動きました。マンションにいる妻に電話しましたが繋がらず、バイクで急いで自宅に戻りました。途中の道路はひびが入り、渋滞していました。マンションの入り口付近の道路もひどい状況でした。」

家の中は電気こそ止まっていましたが、妻はケガひとつなく、安心しました。もちろん、家電が倒れたり食器が飛び出したりすることもなく、お風呂の水が地震の揺れで少しあふれた程度でした。まさに免震ゴムの効果を実感しました」

その後もT様が在宅中に大きな余震がありましたが、「船が揺れるような揺れ」を感じたものの、被害がなかったのは免震構造だからとT様はおっしゃいます。

「ブリヂストンはタイヤのイメージが強いので、免震ゴムを作っていると知って驚きました。今は免震マンションを購入して良かった、安心を手に入れたと実感しています。マンションを購入する知り合いも多いので、免震マンションをぜひ検討するようアドバイスしています」



Voice Pick-up

Point ① 大きな地震でも、免震マンションで家族の安全を守ることができた。

Point ② 免震マンションは建物や家財の損壊が大変少なかった。

Voice 02 宮城県仙台市「ナイスブライトピアあすと長町」にお住まいのO様

「購入後、引き渡し直前に被災。無傷のマンションに大きな安心。」

入居前の新築マンションが被災

新築のわが家への入居を2週間後に控えた3月11日に東日本大震災が発生。当時の様子をO様に聞きました。

「震災の時は、住んでいた賃貸マンションには誰もおらず、引っ越しの準備で荷物はすでに箱詰めされていたので大きな被害はありませんでした。しかし、契約した新しいマンションはどうなっただろう…もし壊れていたらと不安でした。その後、売主のナイスさんから“建物は問題ありません、大丈夫です”と連絡があったので安心しました。引き渡しの日に部屋に入ると、確かにどこも問題ありませんでした。うれしいことに新居はオール電化のため、電気温水器からお湯が出ました。賃貸マンションでは都市ガスの供給が止まっていたので、新居で久しぶりにお風呂に入ることができてホッとしましたね」



あの東日本大震災の時に、免震マンションの中はどうだったのか？ 仙台市の免震マンションにお住まいの3つのご家族のVoiceを ご紹介します。



大きな余震でもお子様が起きなかった

しかし、入居4日後の夜中に大きな余震が発生。新居で初めて大きな揺れを経験されました。「ゴォーという大きな音がして、建物はまるでワインがグラスの中でゆったり動くように揺れました。ニュースを見て、大きな余震だったと後で知りました」その時、奥様と小学生のお嬢様は寝室で寝ていたそうで、「大きな揺れが来ると身構えてしまい、家具が倒れるのではと心配しましたが、食器ひとつ飛び出さず、子供も起きずにずっと寝ていました。この余震で、免震マンションは安心できるということを改めて実感しました」

ご主人はマンションのモデルルームにあった模型を見て、免震構造を理解されていたようですが、大震災という実体験から、免震マンションに住んでいて本当に良かったと思っているそうです。

「自動車関係の仕事をしているので、ブリヂストンのタイヤの良さは知っていましたが免震ゴムを作っていると知りませんでした。今では免震構造で良かったと思います。将来にわたっての安心感も買うことができました」

Voice Pick-up

Point ① 免震マンションで、将来にわたっての大きな安心を買うことができた。

Point ② 大きな地震が来ても激しく揺れないという安心感は免震マンションだからこそ。

Voice 03 宮城県仙台市「ナイスグランソレイユ太子堂」にお住まいのM様

「ここに居れば絶対に安心。住まいが家族を守ってくれる。」

幼い頃の大地震が免震マンション購入の動機

「マンションを買うなら免震マンションと決めていました」と語るののは、宮城県仙台市にお住まいのM様ご一家の奥様です。奥様は子供の頃に、宮城県沖地震で大変怖い思いをされ、住むのであれば地震に強い免震マンションと決めていたそうです。現在、M様ご一家はご主人と奥様、奥様のお母様の3人で、杜の都仙台が一望できる大変眺めの良い高層階にお住まいです。東日本大震災が発生した時に、奥様とお母様はクルマで外出中、ご主人はお仕事が休みで在宅されていました。当時の様子をご主人は「本震が来た時、建物は静かに横に揺れる感じでした。思わずテレビを抑えましたが、家具が倒れたり食器が飛び出すことはまったくありませんでした。窓の外では高圧線や鉄塔が大きく揺れ、風景が歪んで見えるほど。免震の効果を実感すると同時に、外に出ている家族が心配でした。余震も続きましたが、このマンションが一番安全と感じられる場所でした」



この免震マンションはベリーナイス!!

震災後、5日間は電気が通らず、エレベーターは止まったままでしたが、すぐに管理会社が建物や設備の検査をして、被害がないことが報告されました。免震への安心感から、マンション住民のところに避難された方々も多かったようです。Mさんのお母様も近くに住むお姉様を呼び寄せました。「姉は普通のマンションの7階に住んでいて、震災後に駆けつけると家の中は足の踏み場もない状態でした。片付けることもできず、姉は高齢で余震も心配だったのでこちらのマンションに避難させました。姉は“あなたの家、揺れないねえ”と感心していましたね」

お母様ご自身も、免震マンションに住んで良かったと心から思っています。「枕を高くして寝られます。免震とかオール電化とかいろいろ情報をキャッチして、ナイスさんのマンションを購入した娘夫婦を誇りに思います。本当にベリーナイスなマンションですよ(笑)」

奥様は、住まいが命を守ってくれる安心感こそ、免震マンションの価値だとおっしゃいます。「それに、家財も被害を受けず、建物はほとんど壊れていないので工事・修繕費もかかりません。本当に免震マンションを選んで良かったと思います」

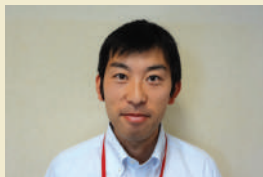
免震で守られ、オール電化でいち早く快適な生活に戻ることができたM様ご一家。明るく、笑顔が絶えない3人のお話から、免震の安心感は確実に暮らしの満足感につながっているようです。

Voice Pick-up

Point ① いざという時に家の中が一番安全という安心感こそ、免震マンション最大のメリット。

Point ② 免震マンションの建物・家財はほぼ被害ゼロ。電気が復旧すればエレベーターも使えた。

ブリヂストンからの メッセージ



ブリヂストン化工品東日本株式会社
東北営業部 営業2課
筑前 智行

より安全・安心な生活を提供するために 全ての建物を免震にしたい。

東日本大震災の直後に弊社が納入させて頂いた免震建物を全て調査しました。

その際、住人の方々に免震建物の様子を伺ったところ、「コップひとつ落ちなかった」という声や、年配のお客様は「娘夫婦のマンションは免震と教えてもらい、避難しにきました。免震だと地震でも怖くない。一番安心です」という大変ありがたい声を頂きました。

震災後は、地震前に耐震で設計されていた建物を、免震で再設計するといったケースも多数出てきました。これも免震の安全性が皆様にご理解頂けたことの表れだと思います。

全ての建物が免震に出来れば、より安全・安心な生活を提供できます。ころばぬ先の杖という訳ではありませんが、尊い命、大事な家財や資産を守ってくれるのが免震だと思います。

全国に免震担当を配置し、細やかな対応ができるのがブリヂストンの「免震ゴム」です。ぜひご検討頂ければと思います。

Q 免震ゴムを使ったマンションの安全性は どのくらい高いのですか？

A 地震による建物被害の程度は、建物に伝わる地震力によって変わってきます。一般の建築物に比べて、免震構造は建物に伝わる地震力が小さいので建物被害が小さくなります。その理由は建物を免震装置が支えているからです。免震装置のひとつ、免震ゴムは薄いゴム層と鋼板を交互に重ねた一体構造で、建物を支え、地震時に水平方向に大きく変形することで建物に伝わる地震力を小さくすることができます。免震装置には免震ゴム以外にもいくつか装置があり、免震ゴムとそれら装置を組み合わせ使用します。

免震建物は、地震時には一般の建物と違って船に乗っているような感じでゆっくり揺れます。免震装置によって建物に伝わる地震力が小さくなるので建物の損傷や、家具などの転倒が少なくなります。



回答者 株式会社ブリヂストン インフラ資材販売促進部 竹内 貞光

ゴムが変形することで、
揺れる力を逃がすんだよ



免震のこともう少し知りたいと思いませんか？

免震Web

検索



●お問い合わせ

株式会社ブリヂストン 建築ソリューション事業企画部

〒244-8510 神奈川県横浜市戸塚区柏尾町1番地

TEL: 045-330-1540 MAIL: zzy310.menshin@bridgestone.com

URL: https://www.bridgestone.co.jp/products/dp/antiseismic_rubber/index.html